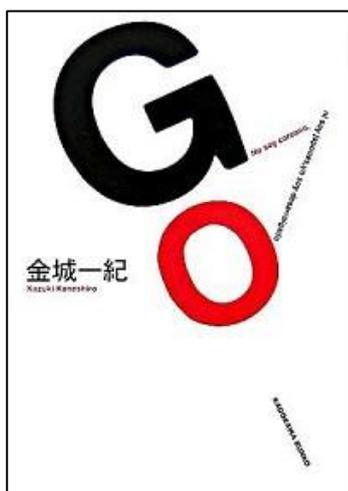


素敵な本との出会いは、人生を豊かなものにしてくれます。様々なことを知ることができ、言葉のシャワーを浴びることで思考力や表現力もぐっと増す。訪れたことのない場所や会ったことのない人と出会うこともできますよ。本を手にするオススメは、やはり図書館！いろいろな本があってお金もかからない。誰でも受け入れてくれるのもいいですね。たまには、YouTube やゲームを離れ読書の時間を楽しんでください。



## 『モモ』 ミヒャエル・エンデ

町はずれの円形闘技場跡に迷い込んだ不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話を聞いてもらおうと、幸福な気持ちになるのでした。そこへ「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄ります……。 「時間」とは何か、「いのち」とは何かを問う、エンデの名作です。



## 『GO』 金城一紀

僕は何者？日本で生まれ、日本で育ったけれど僕は「在日」と呼ばれる。元ボクサーの親父に鍛えられ、これまで喧嘩23戦無敗。ある日僕は恋に落ちた。彼女はむちゃくちゃ可愛い「日本人」だった。

恋愛をとおして差別や国境を考えさせられる。この国の問題も見えてくる。「在日」って？「日本人」って？「生きる」ってなんだろう。せつないけどおもしろい。

若いうちにぜひ、読んでください。

## ● おまけ① 『社会を変えるには』 小熊英二

社会に不満はあるけれど、「何も変わらない」と投げやりな人は多い。選挙で投票するよういわれても???日本でおきていることは、どういうことなのか。社会を変えるというのは、どういうことなのか。どうすればいいのか。歴史的、社会構造的、思想的に考えるための本です。



## 『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎

自分の生き方を決定できるのは自分だけだ。人間としてあるべき姿を求め続けるコペルくんとおじさんの物語。勇気、いじめ、差別、学問。人間として大切なことは？

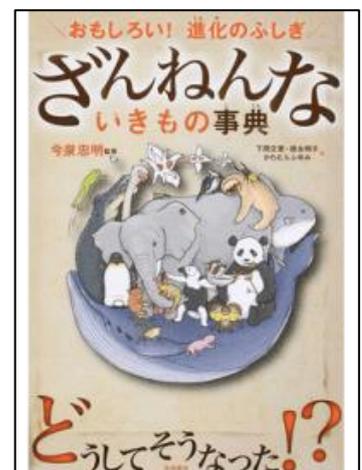
80年読み継がれている名著です。

マンガ化もされているので、そちらもどうぞ！

## 『ざんねんな いきもの事典』

今泉忠明

「ざんねん」とは生き物たちの進化のあかし。生き物は進化してきたからこそ、すごい部分もざんねんに思える部分もあわせ持っています。役に立たない生態を持つようになった生き物たち。その愛すべき姿を通して進化の不思議にせまろう。



## 『人間臨終図巻』

山田風太郎

世界中の英雄、武将、政治家、作家、芸術家、芸能人など、著名人の臨終（死に様）の場面をまとめた本です。死亡した年齢順に923人分収録されています。ソクラテスが毒杯を飲んだのはなぜか？マリー・アントワネットの最後の言葉は「ごめんあそばせ、ムッシュ」。徳川家康の死因は天ぷらの食べ過ぎ？夏目漱石の最後の言葉が格好悪い？

歴史上の人物の意外な「死」にあなたは何を思いますか？

## ● おまけ② 『ディスタンクシオン』 ピエール・ブルデュー

国際社会学会が選んだ「20世紀で最も重要な10冊」のひとつ。他者を理解することで、自分を理解することになる。難解で面白いとはいえないけれど、解放感がある本。自由を考えるきっかけにしてほしい。ちょっと背伸びしてチャレンジ！